

2024年度エコマテリアル・フォーラムシンポジウム

- カーボンニュートラルと環境リテラシー促進に向けて -

2020年10月、政府は2050年までに温室効果ガスの排出を全体としてゼロにする、カーボンニュートラルを目指すことを宣言しました。この実現には、温室効果ガスの排出量の削減と吸収作用の保全及び強化が必要です。エコマテリアル・フォーラムでは、いち早く材料やサービスにライフサイクルの考え方を取り入れ、温室効果ガス（GHG）の削減に資する材料技術の開発や普及、日常生活における考え方や取り組みなどの啓発活動を進めてまいりました。日本のGHG排出・吸収量は2050年に向けてこれまで順調に減少しておりますが、これは主に省エネ努力によるもの、更なる削減には技術革新や意識向上が求められています。

本シンポジウムでは、カーボンニュートラルに向けてリーディングエッジとなる材料技術と課題、今後の展開、そして啓発活動の工夫やその事例について取り上げております。皆さまのご参加をお待ちしております。

主催：エコマテリアル・フォーラム

共催：国立研究開発法人物質・材料研究機構

日時：10月7日（月）13時～17時

会場：工学院大学新宿校舎 A-0715

参加登録サイト：<https://forms.office.com/r/3ZtCsFigqw>

方式：ハイブリッド（オンライン参加希望の方には参加登録後に Zoom Link を連絡差し上げます）

参加費：無料

講演資料：無料（エコマテリアル・フォーラム会員）、2,000円（非会員で希望される方）

プログラム

13:00	開会挨拶	篠原 嘉一（NIMS）
13:05	会長挨拶	原田 幸明（SusDi）
13:20	（講演1）自動車用高圧/液体水素タンクの開発とメーカーの水素戦略	三好 新二（株SOKEN）
14:00	（講演2）2050年カーボンニュートラル実現のための化学産業 ～分離技術が果たすべき役割を中心に～	赤松 憲樹（工学院大）
14:40	休憩	
14:50	（講演3）鳴! 勘違い... LiB(リチウムイオン電池)とEV(電気自動車)を 環境にやさしくするためになにが必要か	原田 幸明（SusDi）
15:30	（講演4）サステナビリティの推進に向けた社内浸透・啓発の取り組み	竹内 孝曜（GPN）
16:10	（報告1）熱電発電研究会 WG	桑折 仁（工学院大）
16:20	（報告2）エコモノづくり WG	岡部 敏弘（神奈川大）
16:30	（報告3）エコ材料教育の実践と教材開発 WG	山口 明（岩手大）
16:40	（報告4）エコキャラバン WG	加納 誠（東京理科大）
16:50	閉会挨拶	桑折 仁（工学院大）
17:30	懇親会	

【問合せ先】エコマテリアル・フォーラム事務局

〒305-0035 茨城県つくば市松代 5-2-34 （一社）サステナビリティ技術設計機構内

Tel/Fax：029-846-5505 E-mail: info@ecomaterial.org